

2019年外国人延べ宿泊者数の状況

速報値

市内の各観光協会、および城崎温泉旅館協同組合に協力を得て外国人延べ宿泊者数を調査したので、その結果をお知らせする。

1 外国人延べ宿泊者数調査概要

(1) 調査期間

2019年1～12月

(2) 調査方法

市内の宿泊施設を対象に、調査票により調査

2 調査結果

(1) 外国人延べ宿泊者数

ア 年間の市内外国人延べ宿泊者数は63,648人泊で、前年比17.2%増。2018年における前年比6.9%増に比べて増加率が高くなった。

イ 全国との比較でも、1～11月までのインバウンド(延べ宿泊者数)は、前年同期比10.3%増に対し、本市は同17.6%増であった。

ウ 地域別では、日高地域の増加率が前年比で20.2%増。城崎地域では、2018年における前年比2.6%減に対し、2019年は前年比15.6%増となり、状況は好転した。

外国人延べ宿泊者数(市全体)

(単位：人泊)

地域	2019年	2018年	増減人数	前年同期増減率
	10～12月 年間 (ア)	10～12月 年間 (イ)		
豊岡	1,192	906	286	31.6%
	4,510	4,225	285	6.7%
城崎	13,942	12,304	1,638	13.3%
	50,783	43,916	6,867	15.6%
竹野	464	262	202	77.1%
	1,156	1,094	62	5.7%
日高	1,745	1,274	471	37.0%
	5,987	4,980	1,007	20.2%
出石	—	—	—	—
	—	—	—	—
但東	20	35	△15	△42.9%
	147	115	32	27.8%
その他	389	—	—	—
	1,065	—	1,065	—
計	17,752	14,781	2,971	20.1%
	63,648	54,330	9,318	17.2%

※「その他」欄は、観光協会関係以外からの報告分(市による独自集計)

《参考》

全国と市全体の外国人延べ宿泊者数の比較（1～11月）

（単位：人泊）

	2019年	2018年	増減人数	前年同期増減率
	10～11月 1～11月 (ア)	10～11月 月 (イ)	10～11月 1～11月 (ア-イ)	10～11月 1～11月 (ア-イ)/イ
全国	15,409,810	13,998,880	1,410,930	10.1%
	84,174,700	76,280,650	7,894,050	10.3%
豊岡市	12,546	10,164	2,382	23.4%
	58,442	49,713	8,729	17.6%

注)「国土交通省観光庁」の外国人延べ宿泊者数の発表値を集計

2019年1月～10月分は第2次速報、11月分は第1次速報の発表値を集計

(2) 国(地域)別の外国人延べ宿泊者数

- ア 1年間における宿泊者数は、台湾などの東アジア地域が上位を占めたが、年間で最も増加率が高かったのはアメリカ(前年比59.1%増)であった。
- イ 2019年からターゲットとした台湾は、前年比43.8%増となり、7月から開始したプロモーションによる成果が出ている。
- ウ 一方、2018年には前年比61.0%増と好調であったフランスは、瀬戸内国際芸術祭の影響で前年比15.5%減となった〔瀬戸内国際芸術祭開催期間中の4～10月は、前年同期比減。開催期間以外は前年同期比増である〕。

国(地域)別の外国人延べ宿泊者数(年間の人泊順)

(単位：人泊)

順位	豊岡市(全体)			うち城崎地域		
	国(地域)	2019年 10～12月 年間	前年同期増減率 10～12月 年間	国(地域)	2019年 10～12月 年間	前年同期増減率 10～12月 年間
1	台湾	3,847	39.4%	中国	2,158	3.0%
		15,080	43.8%		9,188	9.0%
2	中国	2,619	6.4%	台湾	1,673	11.2%
		10,843	13.9%		8,132	40.7%
3	香港	1,712	△12.5%	香港	1,559	△9.7%
		6,714	18.9%		6,031	23.4%
4	タイ	2,038	4.2%	タイ	1,920	6.3%
		5,430	△0.9%		5,075	1.3%
5	アメリカ	1,546	72.7%	アメリカ	1,459	71.4%
		4,883	59.1%		4,560	57.2%
6	フランス	607	△7.6%	シンガポール	868	56.4%
		3,130	△15.5%		2,005	28.8%
7	シンガポール	941	51.8%	オーストラリア	576	20.0%
		2,194	27.0%		2,004	11.5%
8	オーストラリア	616	23.9%	フランス	535	△15.6%
		2,138	12.5%		2,811	△19.7%
9	イギリス	492	49.5%	イギリス	448	50.8%
		1,477	22.1%		1,346	21.9%
10	カナダ	474	94.3%	カナダ	451	106.9%
		1,411	33.6%		1,324	31.1%
-	その他	2,860	31.6%	その他	2,295	18.4%
		10,348	4.2%		8,307	11.6%
計		17,752	20.1%	計	13,942	13.3%
		63,648	17.2%		50,783	15.6%

(3) 外国人延べ宿泊者数のシェア比較(1～11月)

	東アジア	東南アジア	欧州	北米	豪州	その他
			(メインターゲット)			
豊岡市	54.6 %	13.1 %	14.9 %	10.3 %	3.6 %	3.5 %
			(28.8 %)			
城崎地域	49.1 %	14.7 %	16.9 %	12.1 %	4.3 %	2.9 %
			(33.3 %)			

《参考》

全国の外国人延べ宿泊者数のシェア比較(1～11月)

	東アジア	東南アジア	欧州	北米	豪州	その他
			(メインターゲット)			
全国	61.6 %	10.2 %	7.1 %	8.3 %	3.0 %	9.8 %
			(18.4 %)			

注)「国土交通省観光庁」の外国人延べ宿泊者数の発表値を集計

2019年1月～10月分は第2次速報、11月分は第1次速報の発表値を集計

(4) ラグビーワールドカップを契機としたプロモーション

ア 対象国

アメリカ、カナダ、フランス、イギリス、イタリア、オーストラリア、ニュージーランド

イ 取組内容

メディア広告、WEB広告、Facebook広告、会場周辺のWiFiスポットでのプッシュ型広告配信、体験プログラムの造成販売。

ウ 実績

- (ア) 対象国におけるラグビーワールドカップ期間中(9～11月)のインバウンドは、日本全体で前年同期比33.0%増。対して本市は4,205人泊で43.8%増であった(うち城崎地域は3,929人泊で40.8%増)。
- (イ) 国別では、アメリカが前年同期比84.2%増、カナダが同109.6%増、イギリスが同40.2%増、オーストラリアが同23.2%増、と大きく増加した。
- (ウ) 一方、同じくラグビーワールドカップの出場国であるフランスは2.0%減となった。県別における10月の前年比は、試合会場となった福岡県が前年比550.0%増、熊本県が同777.6%増、大分県が同1482.1%増と著しく高く、試合開催が多かった九州地方に宿泊していたと考えられる。
- (エ) Googleでのキーワード検索数は、9～11月の「Kinosaki」または「KinosakiOnsen」の検索数が前年同期比30%増となった。対象国に限定すると前年同期比36.6%増とより大きな伸びで、城崎の認知拡大が図られた。

3 今後の主な取組内容

- (1) 台湾を中心とした東アジアへのプロモーション
 - ・繁体語版Facebook運用、台湾メディア掲載、WEB広告配信を継続して実施
- (2) 欧州主要ターゲット国へのプロモーション
 - ・【フランス】VisitKinosakiフランス語リニューアル
 - ・【ドイツ】3月ITBベルリン出展、VisitKinosakiドイツ語ページ制作
- (3) オーストラリアへのプロモーション
 - ・海の京都DMO、森の京都DMO等と連携(地域の観光資源を活用したプロモーション事業)
 - ・エージェント招聘促進
- (4) 瀬戸内地域など他地域と連携
 - ・共同でメディア・エージェントの招聘